

第2学年 学習指導案（国語科）

授業者

指導教諭

- 1.対 象 第2学年●組
- 2.日 時 2024年5月●日（●）第●限
- 3.場 所 第2学年●組教室
- 4.単元名 扇の的―「平家物語」から
- 5.単元の目標

- 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ること。[A 知識及び技能（3）イ]
- 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫すること。[B 話すこと・聞くこと（1）イ]
- 多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く活動。[C 書くこと（2）イ]

6. 単元について

(2)教材観

本教材は、平家の興亡を「平曲」という形で語り継いだ軍記物語である。そのため、文章に独特のリズムや調子があり、音読に適している。音読を通して、古文に親しみを持つことが出来る。また、「源氏」と「平家」が対句表現によって記述されていることで、それぞれの共通点・相違点が確認しやすくなっている。今の価値観との違いだけでなく、同時代の武士であっても価値観が異なることを学ぶことができる教材である。

(3)生徒観

本学級はクラス仲が良好であり、活発に意見交流ができるため、生徒同士で相談しながら授業を進めることができる。しかし古典に対しては苦手意識をもっている生徒も少なくない。全体的に学習意欲は高いが、理解できている生徒と、できていない生徒の差が激しい。そのため、机間巡視で生徒の記述を読み取って、声を掛けて支援をしていく必要がある。

(4)指導観

「平家物語」を通して、古典のリズム感を感じさせ、古典の世界に親しみを持たせることを目的としている。物語を読む中で、現代とは異なる、古典に登場する人物のものの見方、感じ方、考え方に触れ、多様な視点を持たせたい。また、授業で他の生徒と交流することにより、他者の考え、その源となる根拠を知ることによって意見を比較し、考えを広げて深めさせ、それらを文章でまとめる力を身につけさせたい。

7.単元の計画（全4時間）

第一時 「与一」の置かれている状況をとらえる。

第二時 第一時で学んだ「与一」の状況との比較を踏まえ、平家の特徴をとらえる。

第三時 人物を一人選び、他の人と交流して、様々な観点から人物像を考える。

第四時 第三次でとらえた人物像を元にインタビューに対する受け答えを考え、人物像をさらに深める。

8.本時の指導 4時間／全4時間

(1) 本時のめあて

インタビューに答えて人物像を深める。

時間	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 5分	・今回扱う範囲を音読する。	・読み間違いがないか、言葉が詰まっていないかを確認する。
展開 40分	・前回の活動をふりかえる。 →何人かの人物像を全体共有する。 ・めあてを確認する。	
めあて インタビューに答えて人物像を深めよう。		
	・「あ、射たり」と「情けなし」について、前回の活動と同じ役割から、それを聞いた人物がどういった反応をするかを考える。(個人) ・班で交流する。 ・エキスパート活動 (役割ごとに別れて意見交流する。) ・クロストーク (班に戻って改めて反応をまとめ、共有する。) ・インタビューで考えたことを踏まえて、人物像をまとめる。	・現在の活動と時間を示す。 ・班の形に机を動かす。 ・机間巡視を行い、生徒の活動を確認して助言を行う。 ・(個人思考) 核となる考えを持たせる。 ・(班交流) 自分の考えを明確にする。 ・班で交流する以降の意見はペンの色を変えて書く。 ・(エキスパート活動) 同じ人物に対する多様な意見の交流を行う。 ・(クロストーク) 人物像を他の立場と比較することによって多面的にとらえる。 【C書くこと(2)イ】
まとめ 5分	人物像を共有する。 次回予告を行う。	